

■第11回あきたスマートシティ協議会 議事録

日時	平成26年3月20日(木) 14:00~16:00	
場所	秋田市環境局大会議場	
参加者 (敬称略)	推進 委員	特定非営利活動法人科学協力学際センター川添理事長(委員長) 東北大学院環境科学研究科 古川准教授 東北電力株式会社秋田営業所 杉田専門役 東部ガス株式会社秋田支社 保坂副支店長(代理:小玉マネージャー) 秋田商工会議所 柴田専務理事(代理:鈴木事務局長) 一般社団法人あきた地球環境会議 福岡事務局長 秋田県生活環境部温暖化対策化 高橋課長 日本アイ・ビー・エム株式会社 Smarter City 推進 加茂部長 ジョンソンコントロールズインク(米国本社) 三田村ディレクター(代理:割田グループ長) アイ・エム・サービス株式会社 大山統括部長(代理:高橋部長) 秋田市環境部 古里部長 株式会社日本総合研究所 総合研究部門マネージャー 小長井 計12名(順不同)
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	資料1 あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会 委員名簿 資料2 本年度活動報告 資料3 情報統合管理基盤WG 報告資料 資料4 地域ESCO WG 報告資料 資料5 地産エネルギーWG 報告資料 資料6 低炭素モビリティWG 報告資料 資料7 来年度活動計画(案) 資料8 省エネ支援業務 活動方針 資料9 低炭素モビリティWG 活動方針 資料10 ライフスタイルイノベーションWG 活動方針 資料11 次世代エネルギーパーク・e-市民アクションポイント 資料 資料12 第10回推進協議会議事録	

1 WG 活動報告

各 WG より活動報告後討議を行った。主な議論は以下の通り。

- ・情報統合管理基盤は、現在のシステムを活用し、センサーを導入していない他施設の省エネ指導を行っていく。
- ・ESCO 事業は引き続き省エネ活動を行っていく。
- ・地産エネルギーに関し、小水力発電の実施可能性については引き続き検討していく。
- ・新庁舎建設後、公用車の駐車スペースが減少するため、一層の効率的利用が必要。

2 WG 来年度活動方針

各 WG より来年度の活動方針の報告後討議を行った。主な議論は以下の通り。

- ・事業の実現のためには市役所だけ努力しても難しい。民間企業や大学との連携が必要。
- ・アプリ事業については環境が整った段階で再度検討する。
- ・次世代エネルギーパークは、小中学生の環境教育のためにも活用していく。
- ・低炭素モビリティは、市職員の通勤の低炭素化（自転車通勤）から始め、市全体の移動の低炭素化につなげる。
- ・パークレットについては、自転車利用促進の視点で実現化に向けて検討する。
- ・省エネ支援業務は、民間企業への展開も見据えたものとする。
- ・e-市民は、現在は 100 名であるが、市民の行動パターンを分析し広げていく。

3 次回協議会日程

次回は 6～7 月を予定。

以上